

日本語の文の接続詞「それで」「それに」と「それから」の用法分析

リブカ・シグナクロリア

0942005



日本文学科
文学科学部
マラナタキリスト大学
バンドン
2013

日本語の接続詞「それで」、「それに」、「それから」の用法分析

序論

日本語学習の際、いくつかの単語はインドネシア語に訳すと同じ意味となり、インドネシア語を母語とする学習者の日本語学習を困難なものにしてしまう。特に接続詞は最たる例と言えるだろう。本論文では接続詞を統語論と意味論の観点から分析する。統語論では接続詞の使用方法を分析し、意味論では接続詞の意味を明確にする。接続詞は品詞分類の中の一つであり、語と文を接続するために用いられる。日本語の接続詞「それで」、「それに」、「それから」は全て異なるが、インドネシア語でそれぞれの意味は似ている。インドネシア語で「それで」は *sehingga, oleh karena itu, kemudian, terus* となる。「それに」は *selainitu* と *lalu* が相当し、「それから」は *kemudian, lalu, sejuasaatitu, setelahitu* となる。意味が似ているため、日本語を学習するインドネシア人は、これらの接続詞の区別することが非常に困難である。この論文ではこの三つの接続詞を置換することで意味に変化が生じるのかを見ていく。

本論

例1：裕翔くんとは、ふたりだけのシーンがあったのね。そのときはロケだったから、休憩中にふたりで虫をとりにいったり、探検したり。それで、すごく親しくなれたよ。(WU12, 2008 : 063)

この文は「それで」が接続詞として用いられており、インドネシア語では'sehingga' となる。接続詞は「それに」と「それから」にそれぞれ置換でき、それぞれ意味を持つ文章となる。しかし、以下の例文では置換することができない。

例2：有岡くんは、大人っぽいイメージの人だなんて思ってたの。

でも、実際ははじける人だった。それに優しい。(WU12, 2008 : 063)

この文の接続詞は置換できない。何故なら、この「それに」は理由を表すものではなく、「それに」は *selainitu* の意味で使用されているからである。この文で使用されている接続詞は、新情報を追加するためのものであり、そのため置換できない。

結論

「それで」、「それに」、「それから」の3つの接続詞はそれぞれの機能を有するが、それぞれの接続詞を置換ができる文章が存在することが確認できた。肯定文であり、状況を説明し、帰結に続く状況を説明し、帰結に続ける。ある一つの事柄について述べ、それに加えて次の事柄を述べると

きに用いる場合と、ある物事に続いてほかのことを追加することを表す表現として使える場合がそうである。インドネシア語の **terus** の意味を持つ場合それぞれの接続詞同士で置換することができる。

DAFTAR ISI

Halaman Pengesahan	i
Halaman Pernyataan Orisinalitas	ii
Pernyataan Publikasi Skripsi	iii
Kata Pengantar	iv
Daftar isi	vii
Bab 1 Pendahuluan	1
1. 1. Latar Belakang Masalah	1
1. 2. Rumusan Masalah	10
1. 3. Tujuan Penelitian	10
1. 4. Metode dan Teknik Penelitian	11
1. 5. Organisasi Penulisan Skripsi	12
Bab 2 Kajian Teori	13
2. 1. Sintaksis	13
2. 1. 1. Struktur Kalimat	15
2. 1. 2. Pengelompokan Kata	18
2. 2. <i>Setsuzokushi</i> (接続詞)	19
2. 2. 1. <i>Sorede</i> (それで)	23
2. 2. 2. <i>Soreni</i> (それに)	24
2. 2. 3. <i>Sorekara</i> (それから)	25
2. 3. Semantik	26
2. 3. 1. Semantik Leksikal	28
2. 3. 2. Semantik Gramatikal	29

Bab 3 Analisis Penggunaan 接続詞 それで、それに、それから Dalam	
Kalimat Bahasa Jepang	30
3. 1. <i>Sorede</i> (それで)	31
3. 2. <i>Soreni</i> (それに)	40
3. 3. <i>Sorekara</i> (それから)	49
3. 4. Rangkuman Analisis	60
Bab 4 Simpulan	67
Daftar Pustaka	69
Lampiran	x
Sinopsis	lvi
Daftar Riwayat Hidup	lix